

業 務 仕 様 書

1. 件 名 AIS (自動船舶識別装置) 情報提供業務
2. 業務目的 本業務は、水産庁委託事業「水産資源調査・評価推進委託事業」における外国漁船動向の把握および人工衛星夜間光データ利用技術開発のための検証作業用の現場データを取得することを目的とする。具体的には、北西太平洋、東シナ海、および日本海において操業する AIS (船舶自動識別装置) により発信する外国漁船の情報を常時収集し、その動向を把握する。得られた情報は、人工衛星夜間光データから抽出される漁船の判別法を検討するためにも利用する。
3. 履行場所 神奈川県横浜市金沢区福浦 2-12-4
国立研究開発法人水産研究・教育機構
水産資源研究所 横浜庁舎
(インターネット経由でのサービス提供)
4. 履行期間 自) 令和 3年 4月 1日
至) 令和 4年 3月 31日
5. 業務内容 水産資源研究所 (横浜) の PC からのインターネット経由でのサービス利用環境を実現し、サービス内容については下記の仕様 1) ~ 16) を満たすこと。
 - 1) Web GIS プラットフォームとアプリケーションによるサービスとし、インターネット経由で 1 つのアカウントでの利用を提供すること。
 - 2) 上記 (1) が利用できる様、アカウント (ID、PASS) を支給すること。
 - 3) 沿岸から沖合までの広域において陸上設置および人工衛星搭載のアンテナの両方で取得される AIS による全船舶についての静的情報 (船名、船種、船籍、データソース、AIS CLASS 種別、IMO 番号、MMSI 番号、コールサイン、全長、全幅) および動的情報 (緯度、経度、対地進路、船首方位、対地速力、回転角速度、受信日時、喫水、航行ステータス、到着予定日時) を、Web GIS 画面上

に表示されている船舶をマウスでクリックする等などの操作により陸上受信および衛星受信による AIS 情報を参照できること。また、船名、MMSI 番号、IMO 番号のいずれかが把握されている船舶についての情報検索が可能であること。但し、船舶からの AIS 情報の一部または全部を受信できていない場合はこの限りではない。

※東シナ海および日本海においては沿岸船舶が多いために衛星受信データの利用が困難であるため、必ずしも衛星受信による全データの参照は必要としない。

- 4) AIS 情報について、CLASS-A、CLASS-B の識別表示ができること。
- 5) AIS による全船舶の位置情報の更新については、陸上および人工衛星搭載のアンテナで受信後、データの伝送処理等に必要な最小の時間を除き、遅滞なく Web GIS 画面上での閲覧が可能なこと。
- 6) 地図上への船舶の表示については、登録船舶についてのみ表示するなど、フィルター機能が使用できること。
- 7) 地図表示部にて任意で選択した船舶について、直近 3 年間の航跡が表示できること。
- 8) 任意で選択した船舶について、過去の航海情報（直近 3 年間）を CSV ファイルにエクスポート可能であること。航海情報は次の表の項目を満たすものとする。

(表) 航海情報の出力項目
船名、MMSI 番号、IMO 番号、コールサイン、船種、船籍、AIS クラス種別、データソース、全長、全幅、緯度、経度、対地進路、船首方位、対地速力、喫水

- 9) 任意で選択した船舶の過去の航海情報は月ごとに回数の制限がなく、履行期間中は無制限に CSV ファイルとしてエクスポートができること。
- 1 0) 地図表示部にて船種別、国籍別に船舶を表示・非表示が選択できること。
- 1 1) 地図表示部にて任意の 2 点間の方位・距離計測ができること。

- 1 2) 任意の船舶を300隻以上登録でき、登録船舶のグループ分けを3階層以上のフォルダ分けを可能とすること。
- 1 3) 収集したデータの整理やデータを使用した描画をサポートするソフトウェアが付属されていること。
- 1 4) I SMS 認証 (JIS Q 27001) を取得していること。
- 1 5) 日本国内のWEB サーバーにてサービスを提供し、AIS 情報を提供するサーバーのセキュリティ対策を十分かつ適切に講じておくこと。
- 1 6) 本サービスの操作方法については電話、またはメールによるサポート・サービスを、平日の(祝日、および年末年始休業日を除く)9時~17時(日本時間)の時間帯で提供できること。また使用言語は日本語が可能であること。

6. その他 詳細については担当職員の指示に従うものとする。